

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立日根野小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 134 人）

4. 調査の内容

（1）児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

- （ア）小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- （イ）出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- （ウ）調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

（2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、中上位層が多く、上位層が少ない。
平均正答率（本校 67／泉佐野市 62／大阪府 66／全国 67.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことにやや課題がある。</p> <p>1三（1）ア【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（いがい） (63.2／52.8)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことにやや課題がある。</p> <p>1三（1）ウ【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す（きかん） (77.4／72.6)</p> <p>○文章の種類とその特徴について理解することにやや課題がある。</p> <p>1四 【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する (75.2／79.8)</p>	<p>○日常よく使われる敬語を理解することにやや課題がある。</p> <p>3三 敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する (54.1／57.6)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることにやや課題がある。</p> <p>2四 資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分にできそうなことをまとめて書く (51.9／56.2)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考と比較しながら、自分の考えをまとめることにやや課題がある。</p> <p>3二 寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く (63.9／70.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	60.1	61.5		1.4
国語の勉強は大切だと思いますか	95.6	94.2		1.4
国語の授業の内容はよくわかりますか	89.8	85.7		4.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	94.9	92.8		2.1
国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	91.4	83.9	◇	7.5
国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	79.7	76.8		2.9

国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか	77.6	71.1	◇	6.5
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体をイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	84.1	82.3		1.8
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか（努力をしたかどうか）	82.1	80.7		1.4
解答時間は十分でしたか	55.3	64.1	◇	8.8

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、特に漢字に関する問題は全国を上回っている。
- 文章がどのようなことを説明しているかを読み取り、内容を理解することに課題がある。
- 自分の意見について書くことが出来る児童の割合は高いが、条件に合わせて文章を書くことに課題がある。
- 問題を解くことに時間がかかり、最後の問題になると無解答率が高くなる。
- 国語の勉強が好きという児童の割合が低い。
- 国語の学習は、将来に役立つと感じている児童や言葉には、相手と好ましい関係をつくる働きがあると感じている児童の割合が高い。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布は、全国と比べて中上位層がやや多く、下位層がやや少ない。

平均正答率（本校 66／泉佐野市 59／大阪府 62／全国 62.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【図形】 ○正三角形の意味や性質の理解に課題がある。 2（3）切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く。 (27.8/24.9)</p> <p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を用いて記述することに課題がある。 2（4）テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。 (24.1/20.8)</p> <p>【式と計算】 ○加法と乗法の混合した整数の計算をし、分配法則を用いることが概ねできている。 3（3）計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める。 (80.5/72.4)</p>	<p>【データの活用】 ○百分率で表された割合についての理解にやや課題がある。 4（1）示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ。 (45.1/46.0)</p> <p>○「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることが概ねできている。 4（2）運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める。 (82.7/75.7)</p> <p>○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することにやや課題がある。 4（3）二つのグラフから、30分以上の運動をした日数を「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く。 (54.9/56.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	64.5	61.4		3.1
算数の勉強は大切だと思いますか	95.7	94.2		1.5
算数の授業の内容はよく分かりますか	81.9	81.2		0.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	95.7	93.3		2.4
今回の算数の問題について、言葉や数、四季を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、それらの問題について、どのように解答しましたか（努力をしたかどうか）	83.6	80.3		3.3
解答時間は十分でしたか	86.6	84.5		2.1

- 図形が本校も全国もともに正答率が低く，説明された操作をイメージできていないことが課題として考えられる。また，三角形の面積の求め方である，底辺×高さを図から読み取る力にも課題が見受けられる。
- 分配法則を用いた計算では，正答率の高さに対して無回答率が高い。分配法則の定理が定着していない児童が多い。
- 表の読み取りと「以上」の意味の理解が不十分である。
- データの活用では，条件に合わせて解答を記述することに課題がある。
- もとにする量に対しての割合の理解に課題がある。
- 算数の重要性や理解している割合は高いのに対し，好きという児童の割合は低い。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童の割合が低い。</p> <p>○家庭学習でタブレット等を使用して、英語を聞いたり話したりしている児童の割合が低い。</p> <p>○学校の授業時間以外に家庭学習に取り組んでいる児童が多い。</p> <p>○本を多く持つ児童が多い。</p>	<p>○毎日同じくらいの時間に寝ていますか。 <76.1/81.0></p> <p>○家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか。 <行っていない 58.0. /49.5></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 <65.2/57.1></p> <p>○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く） <100冊以上 38.3/33.2></p>
【自分自身について】	<p>○将来の夢や目標を持っていない児童の割合が高い。</p> <p>○人が困っているときに、進んで助ける児童の割合が低い。</p> <p>○外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている児童が多い。</p> <p>○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童の割合が高い。</p>	<p>○将来の夢や目標を持っていますか。 <76.8/81.5></p> <p>○人が困っているときは、進んで助けていますか。 <88.5/91.6></p> <p>○日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。 <85.5/78.1></p> <p>○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 <84.0/76.8></p>
【学校での学習の様子】	<p>○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談をできる児童の割合が低い。</p> <p>○PC・タブレットなどのICT機器を使用する頻度が低い。</p> <p>○学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合が高い。</p> <p>○国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている児童の割合が高い。</p>	<p>○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 <66.7/68.5></p> <p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 <1週間に1回以上 58.6/86.3></p> <p>○学校に行くのは楽しいと思いますか。 <89.1/85.3></p> <p>○国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている児童の割合が高い。 <89.7/76.8></p>

本校の取組

◎これまでの取組み

【学習について】

① 伝える力を高める研究

これまで授業研究をおこなってきた国語科の話す聞く単元での学びをもとに、全ての教科で話し合い活動を積極的に取り入れ、話すことや聞くことの経験やスキルを系統的に身に付ける。

② 話すこと・聞くことのスキル

「オープンクエスション」や「ホワイトボードミーティング」を活用し、相手に興味を持ちながら、本音で関わり合おうとする力や意見を互いに聞き合い、一つにまとめる力の育成を行う。

③ TT, 少人数・習熟度別授業

算数科において、学習内容に応じて少人数・習熟度別授業を実施する。教師一人に対しての児童数を減らすことで、よりきめ細やかな指導を行う。

④ 授業規律の確立（泉佐野スタンダード）

本市で共有している“泉佐野スタンダード”を授業規律の指導や授業づくりに活用し、学校全体で共通した指導をめざし、児童の学校生活が安定的なものになるよう努めている。

【生活について】

① 家庭学習の充実をめざす

月に1度目標を決めて、「放課後の過ごし方」（学習面・生活面）を充実させる取組みを家庭と協力しながら行っている。

② 自主学習の取組みを学校全体で進め、得意なことや苦手なことを意識しながら、自分の学びを自分で高めようとする習慣を身に付ける。

◎これからの取組み

【学習について】

〈国語〉

- ・教科書「物語文」や「説明文」の登場人物の気持ちの変化や文中の言葉に着目しながら、読みを深める。
- ・文章の読み取りの学習機会を増やし、読み取る方法を学びながらスキルを高める。
(読み取り学習の教材や府の「ことばの力」の冊子などを授業などで活用していく。)
- ・作文や感想などを書く場面で文字数や指定の言葉を使うなどの条件を提示し、条件に合わせて文章を書く経験を積む。
- ・問題を解く際は、時間内に解くことを意識づける。(タイマーや時間を提示)

〈算数〉

- ・図形の問題では、具体物に触れること、クロムブックを活用し自ら図形を動かすことなどを通して図形の特徴やイメージをつかめるようにする。
- ・文章問題では、単位や聞かれていることなど大切なことをおさえてから、問題を解くようにする。
- ・文章問題では、正しい立式につながられるように、低学年では実体験や絵や図などで場面を理解できるようにする。中学年では、線分図やテープ図を提示しながら理解につなげ、高学年では、線分図などを自分で活用しながら式を組み立てられるようにする。

〈質問紙〉

- ・授業で効果的に使えるアプリなどを活用しながら、クロムブックのメリットを活かした授業づくりを学校全体で広めていく。(自主学習での調べ学習やスライドにまとめて考えを発表するなど)